

(2) 通所系サービス利用料の総利用料

通所系サービス利用料の総利用料は、3,639,813,690 円であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果を以下に示した。

要介護度別には、要介護2が最も高く、次いで要介護3の順となっている。性別では、女性が男性の2.4倍にのぼっている。年齢階層では、75・85歳が最も多く、次いで85歳から95歳と続く、75・95歳の年齢層で全体の78.7%を占めていた。

表Ⅲ-5-4 通所系サービス利用料の総利用料（要介護度別）

ポイント	通所系サービス		
	通所介護	通所リハビリテーション	合計
要支援	12076433	5988618	18065051
要介護1	46778322	34260156	81038478
要介護2	57065813	43824354	100890167
要介護3	47363073	41117635	88480708
要介護4	29212624	20377742	49590366
要介護5	15805672	10110927	25916599
合計	208301937	155679432	363981369

表Ⅲ-5-5 通所系サービス利用料の総利用料（性別）

ポイント	通所系サービス		
	通所介護	通所リハビリテーション	合計
男	58780328	47257378	106037706
女	149521609	108422054	257943663
合計	208301937	155679432	363981369

表Ⅲ-5-6 通所系サービス利用料の総利用料（年齢階層別）

ポイント	通所系サービス		
	通所介護	通所リハビリテーション	合計
65歳未満	6344738	6231399	12576137
65歳以上75歳未満	29821606	27626091	57447697
75歳以上85歳未満	97359291	73056382	170415673
85歳以上95歳未満	70245220	45805311	116050531
95歳以上	4531082	2960249	7491331
合計	208301937	155679432	363981369

(3) 短期入所系サービス利用料の総量

短期入所系サービス利用料の総利用料は、1,014,826,270円であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果を以下に示した。短期入所系サービスを総量としてとらえた場合、利用料として高いのは、要介護3であった。年齢階層別には、85-95歳未満が高かった。

表Ⅲ-5-7 短期入所系サービス利用料の総利用料（要介護度別）

ポイント	短期入所系サービス			合計
	短期入所生活介護	短期入所療養介護 介護老人保健施設	短期入所療養介護 介護療養型医療施設	
要支援	327834	218654	6591	553079
要介護1	5761888	2849252	459280	9070420
要介護2	10852411	5787165	755627	17395203
要介護3	16011031	9141156	1163469	26315656
要介護4	14233927	8124002	918264	23276193
要介護5	15293442	7292263	2286371	24872076
合計	62480533	33412492	5589602	101482627

表Ⅲ-5-8 短期入所系サービス利用料の総利用料（性別）

ポイント	短期入所系サービス			合計
	短期入所生活介護	短期入所療養介護 介護老人保健施設	短期入所療養介護 介護療養型医療施設	
男	16421369	9860362	1591309	27873040
女	46059164	23552130	3998293	73609587
合計	62480533	33412492	5589602	101482627

表Ⅲ-5-9 短期入所系サービス利用料の総利用料（年齢階層別）

ポイント	短期入所系サービス			合計
	短期入所生活介護	短期入所療養介護 介護老人保健施設	短期入所療養介護 介護療養型医療施設	
65歳未満	1256524	802088	120861	2179473
65歳以上75歳未満	6658792	4314614	657962	11631368
75歳以上85歳未満	25067520	13472327	2113766	40653613
85歳以上95歳未満	25880026	13273219	2465604	41618849
95歳以上	3617671	1550244	231409	5399324
合計	62480533	33412492	5589602	101482627

(4) その他のサービス利用料の総利用料

その他のサービス利用料の総利用料は、993,434,560 円であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果を以下に示す。その他のサービスの種類別には、福祉用具が最も高く、次いで痴呆対応型共同生活介助と続いていた。これらの総額としては、要介護2の利用料が高く、年齢階層としては、75・85歳未満の利用料が高かった。

表Ⅲ-5-10 その他のサービス利用料の総利用料（要介護度別）

ポイント	その他のサービス			合計
	居宅療養管理指導	痴呆対応型共同生活介助	福祉用具借与	
要支援	868090	0	2717137	3585227
要介護1	3387570	5465240	10124243	18977053
要介護2	4227430	12841380	12541850	29610660
要介護3	3000786	6027577	11037326	20065689
要介護4	3344796	744005	9066355	13155156
要介護5	4760070	19228	9170373	13949671
合計	19588742	25097430	54657284	99343456

表Ⅲ-5-11 その他のサービス利用料の総利用料（性別）

ポイント	その他のサービス			合計
	居宅療養管理指導	痴呆対応型共同生活介助	福祉用具借与	
男	6942571	3941492	21246466	32130529
女	12646171	21155938	33410818	67212927
合計	19588742	25097430	54657284	99343456

表Ⅲ-5-12 その他のサービス利用料の総利用料（年齢階層別）

ポイント	その他のサービス			合計
	居宅療養管理指導	痴呆対応型共同生活介助	福祉用具借与	
65歳未満	930650	600626	3006040	4537316
65歳以上75歳未満	3563311	1980069	11222948	16766328
75歳以上85歳未満	8228751	14661272	22279771	45169794
85歳以上95歳未満	6012170	7812513	16327094	30151777
95歳以上	853860	42950	1821431	2718241
合計	19588742	25097430	54657284	99343456

(5) 施設サービス利用料の総利用料

施設サービス利用料の総利用料は、10,741,408,100 円であった。それらを要介護度別、性別、年齢階層別に集計した結果を以下に示す。

要介護度別には、要介護4が最も高く、次いで要介護5の順となっている。性別では、女性が男性の3.4倍にのぼっている。年齢階層では、75-85歳が最も多く、次いで85歳から95歳と続く、75-95歳の年齢層で全体の80.8%を占めていた。

表Ⅲ-5-13 施設サービス利用料の総利用料（要介護度別）

ポイント	施設サービス			合計
	介護老人福祉施設	介護老人保険施設	介護療養型医療施設	
要支援	3547155	0	0	3547155
要介護1	49812139	32823174	10626428	93261741
要介護2	93117430	99594966	24488623	217201019
要介護3	104293947	95615980	27005631	226915558
要介護4	124574645	89376851	77501476	291452972
要介護5	113423654	36536425	91802286	241762365
合計	488768970	353947396	231424444	1074140810

表Ⅲ-5-14 施設サービス利用料の総利用料（性別）

ポイント	施設サービス			合計
	介護老人福祉施設	介護老人保険施設	介護療養型医療施設	
男	93979459	87092139	63587378	244658976
女	394789511	266855257	167837066	829481834
合計	488768970	353947396	231424444	1074140810

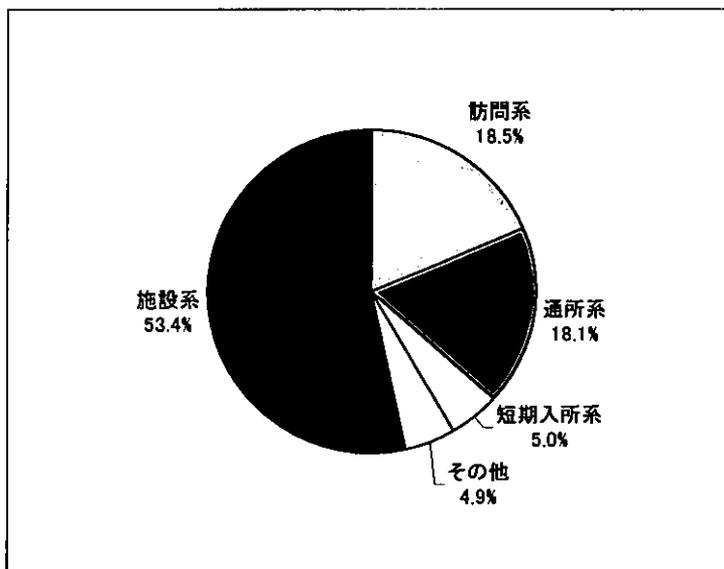
表Ⅲ-5-15 施設サービス利用料の総利用料（年齢階層別）

ポイント	施設サービス			合計
	介護老人福祉施設	介護老人保険施設	介護療養型医療施設	
65歳未満	5360388	4269428	5740229	15370045
65歳以上75歳未満	53480624	38136091	32536675	124153390
75歳以上85歳未満	210579810	158237199	102192191	471009200
85歳以上95歳未満	184101176	138151611	74984234	397237021
95歳以上	35246972	15153067	15971115	66371154
合計	488768970	353947396	231424444	1074140810

(6) 各種サービスの総利用料の比較

各種サービスの総利用料の比較について見てみると、総利用料の中で最も多い割合を占めているのが、利用総回数と同様「施設系サービス」で 10,741,408,100 円 (53.4%) であった。次は、「訪問系サービス」で 3,725,929,620 円 (18.5%)、「通所系サービス」が 3,639,813,690 円 (18.1%)、「短期入所系サービス」が 1,014,826,270 円 (5.0%)、「その他」が 993,434,560 円 (4.9%) であった。施設系サービス利用料が全体の 5 割を超え、他のサービスに比較して、かなり大きいことがわかる。次いで多いのは、訪問系のサービスであるが、全体の 20%にしかあたらなかった。

A 市の給付額においては、ほとんどが施設系サービスによって占められていることが明らかになった。



図Ⅲ-5-1 各種サービスの総利用料の比較 (N=20,115,412,240)

6. 要介護認定の推移とその実態

(1) 要介護認定の推移に関する分析の方法

平成13年度～平成15年度にかけて要介護認定結果データから、認定の推移傾向に関する分析を実施し、①改善事例（前々回 → 前回 → 今回と上がっているケース）について、

- ア.改善群における変化の特徴は何かについて、
- イ.継続して改善しているのか、一時的なものか？
- ウ.その改善群のサービス利用上の特徴は、あるか

について、具体的な事例に対する個別面接によって、明らかにすることを目的とした。

この他に、介護保険サービスについても、

- ア.施設、在宅の居住場所について
- イ.サービスの種類、量、金額（どのようなサービスをどのくらい購入しているか）
- ウ.サービス提供者は誰か（事業者の種類など）
- エ.サービスの組み合わせはどうか（介護サービス計画の実際）

について検討した。

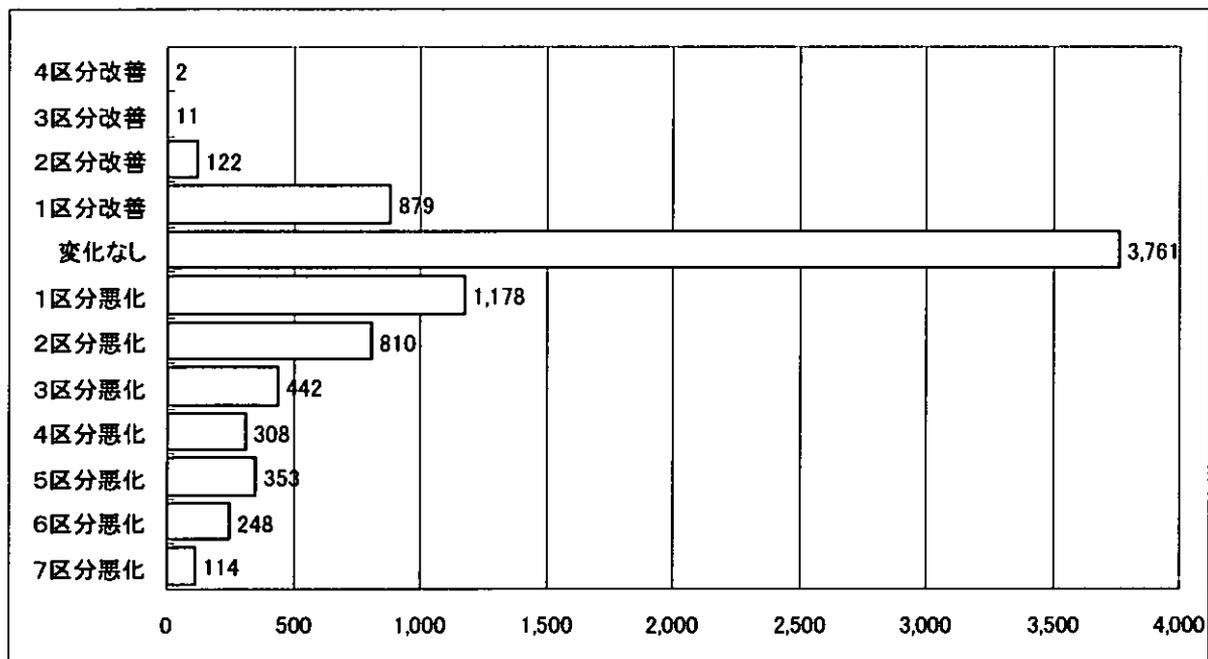
(2) 要介護度の改善及び悪化の事例の抽出

要介護度の改善及び悪化の事例リスト（グループ）の状況は以下のとおりである。対象となる高齢者は、加齢に伴う心身機能等の低下によって要支援・要介護認定を受けたものであり、経時的に要介護度は維持もしくは悪化することが一般的だと考えられることが多い。

しかし、以下の状況でも明らかなように、全体の認定者数の中で改善した高齢者数は「1,014名」にも昇っていた。そこで、調査開始の本年度においては、要介護度の悪化事例ではなく、先ず改善したグループの事例リスト（名簿）を作成・配布し、その中から担当の介護支援専門（調査員）に調査対象者を選定して別紙の「要介護度軽の改善事例の概要シート」を用いて専門家に検討してもらった。

表Ⅲ-6-1 要介護度の推移傾向から見た調査対象事例

変化	男性	%	女性	%	合計	%
4区分改善	1	0.0	1	0.0	2	0.0
3区分改善	7	0.3	4	0.1	11	0.1
2区分改善	29	1.1	93	1.7	122	1.5
1区分改善	246	9.3	633	11.3	879	10.7
変化なし	1,146	43.2	2,615	46.9	3,761	45.7
1区分悪化	327	12.3	851	15.3	1,178	14.3
2区分悪化	255	9.6	555	9.9	810	9.8
3区分悪化	165	6.2	277	5.0	442	5.4
4区分悪化	146	5.5	162	2.9	308	3.7
5区分悪化	172	6.5	181	3.2	353	4.3
6区分悪化	105	4.0	143	2.6	248	3.0
7区分悪化	51	1.9	63	1.1	114	1.4
(合計)	2,650	100.0	5,578	100.0	8,228	100.0



図Ⅲ-6-1 A市における改善群および悪化群の要介護度の推移

表Ⅲ-6-2 年齢階層別改善および悪化群の分布

変化	65歳未満		65歳～75歳未満		75歳～85歳未満		85歳～95歳未満		95歳以上		合計	%
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%		
4区分改善	0	0.0	2	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0
3区分改善	1	0.3	2	0.1	4	0.1	4	0.2	0	0.0	11	0.1
2区分改善	5	1.5	17	1.1	47	1.5	50	2.0	3	1.4	122	1.5
1区分改善	34	10.5	175	10.9	374	12.0	275	11.2	21	10.0	879	10.7
変化なし	204	63.2	913	57.0	1,585	50.7	976	39.8	83	39.7	3,761	45.7
1区分悪化	43	13.3	229	14.3	484	15.5	398	16.2	24	11.5	1,178	14.3
2区分悪化	21	6.5	134	8.4	303	9.7	318	13.0	34	16.3	810	9.8
3区分悪化	2	0.6	12	0.7	35	1.1	43	1.8	4	1.9	442	5.4
4区分悪化	6	1.9	42	2.6	77	2.5	120	4.9	18	8.6	308	3.7
5区分悪化	2	0.6	38	2.4	90	2.9	148	6.0	14	6.7	353	4.3
6区分悪化	3	0.9	24	1.5	94	3.0	87	3.6	7	3.3	248	3.0
7区分悪化	2	0.6	15	0.9	33	1.1	31	1.3	1	0.5	114	1.4
(合計)	323	100	1603	100	3126	100	2,450	100	209	100	8,228	100.0

表Ⅲ・6・4 悪化事例(4段階悪化)2

ID	2000年												2001年												2002年												認定 回数	認定 有効 月数	認定有効 月当り入所 日数	認定有効 月当り利 用率(%)	認定有効 月当り在 宅利率(%)	性別	年齢
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月																
	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4															
211343	8.4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	15	0	6034.8	6034.8	1	89									
326885	6.4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	20	7.9	3847.4	4053.4	1	84									
187444	6.5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	19	0	4587.2	4587.2	1	81									
309311	6.5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	18	0	583.3	583.3	1	66									
414655	6.5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	19	0	5371.4	5371.4	1	86									
165639	6.6	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	24	7.4	4998.2	195.4	1	78									
145450	6.6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	20	4	7091.1	4988.0	0	86									
156882	6.6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	22	29.9	26330	0	2	86									
211327	6.6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	14	0	1988.1	1988.1	0	87									
291410	6.6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	15	29.2	22481.5	0	1	91									
401340	6.6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	16	30.4	24330	0	2	84									
417270	6.6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	23	0	4557.5	4557.5	1	78									
429457	6.6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	20	29.4	23228.4	0	1	82									
185688	6.7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	25	4.4	6018.8	2228.8	1	81									
388265	6.7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	16	0.8	7223.2	7198.9	2	91									
46924	6.8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	23	2.1	2855.4	2796.7	2	77									
223355	6.8	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	17	17.2	15192.2	3940.2	1	90									
232844	6.8	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6	25	10.5	7495.7	38.4	2	85									
337254	6.8	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	13	0	1282.6	1282.6	1	81									
170064	6.9	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	20	0	4247.8	4247.8	1	72									
182256	6.9	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	18	5.1	2764.3	2579.0	1	84									
279928	6.9	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	15	0	1028.5	1028.5	2	83									
431586	6.9	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	16	30.3	26154.2	0	2	72									
107681	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	15	0	8018.5	8018.5	1	90									
433764	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	13	19	13065.0	0	2	89									
277189	7.1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	14	30.3	24932.1	0	1	80									
328509	7.1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	16	0	495.9	495.9	1	83									
229741	7.2	NA	NA	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	20	14.6	10069.1	0	2	86									
173824	7.2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	12	20.3	15268.5	5221.8	2	90									
197203	7.2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	13	0	1089.5	1089.5	1	73									
242553	7.2	NA	NA	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	18	0	3017.8	3017.8	1	81									
442181	7.2	NA	NA	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	13	0	228.5	228.5	2	88									
173758	7.3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	24	29.5	28294	243.2	2	80									

表Ⅲ-6-6 悪化事例(3段階悪化)

ID	2000年												2001年												2002年												認定有効月数	認定有効月当り入所日数	認定有効月当り費用(円)	認定有効月当り在宅利用(円)	性別	年齢
	2000年				2001年				2002年				2003年				2004年				2005年																					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	回数														
162876	5.7	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	25	0	7443	7443	2	83									
60815	6	NA	NA	NA	NA	NA	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	20	0	904.5	904.5	1	92									
71590	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	25	0	11341	11341	2	91									
237619	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6	25	0	4416.2	4416.2	2	85									
444654	6.5	NA	NA	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	23	12.5	10889.7	156.7	1	72									
407067	6.6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	25	0	6034.5	6034.5	2	77									
133438	6.6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	25	0	6736.9	6736.9	1	74									
429234	6.6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3	25	28.2	2853.3	0	2	81									
165771	6.6	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	25	30.4	27851.8	0	2	83									
433335	6.6	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	25	0	4452.6	4452.6	2	59									
400187	6.7	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	5	22	3	1070	1070	2	78									
362435	6.8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	25	17.2	22463.4	1749.8	2	81									
328188	6.9	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	25	28.2	24012.2	0	2	95									
12319	7	NA	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3	24	6.5	8115	323.9	1	73									
291894	7	NA	NA	NA	NA	NA	NA	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	20	9.6	6775.9	198	2	82									
236142	7.2	NA	NA	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	21	0.7	560.9	530.9	2	67									
160797	7.2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	25	17.4	15821.1	0	2	73									
92388	7.5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	25	5.7	3489.1	1299.5	2	72									
139007	7.6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	23	0	2106	2106	1	81									
297235	8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	22	0	502.7	502.7	2	80									
117458	8.8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3	21	7.9	5513.4	16.7	2	84									
183286	8.9	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	19	0	2800.2	2800.2	2	95									
249111	9.4	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	17	1.1	97.1	63.5	2	86									
265746	9.6	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3	19	0	8017.7	8017.7	1	91									
234212	10	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	18	0	1862.2	1862.2	2	70									
92089	10.1	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	2	2	2	2	2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	18	0	20.4	20.4	2	78									
420860	10.1	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3	17	11.5	14261.4	589.9	2	86									
289976	10.2	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	16	0	599.5	599.5	2	90									
163668	10.2	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	17	0	6703.9	6703.9	1	90									
49743	10.5	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	15	0	610.1	610.1	1	92									
320052	10.8	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	16	5.6	5591.8	1694.9	2	96									
28372	11.5	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	15	15.3	13913.7	2994.5	2	82									
9168	11.8	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	14	18.9	13318.1	650.6	2	88									

(4) 改善群に対する個別面接調査の概要

①目的

要介護度の改善及び悪化の統計ではあらわれない事例個別の状況や、改善及び悪化した要因と実際の対応方法について検討すること。そのことにより、要介護度の改善に効果的な介護保険サービスの利用やその組み合わせといった提供方法の特徴を明らかにする。

②調査期間及び方法

過去2年間の要介護度の推移において、特徴があった高齢者について、③で示す条件を満たした調査員による事前提出資料の「要介護度軽改善事例の概要シート」などに基づき、2回の検討会を開催し、要介護度の改善事例を検討した。

③個別面接調査の調査員

高齢者のヒアリング調査及び検討者である調査員は、以下のア～エの条件を満たした26事業所から選出された47名である。

ア.「介護サービス計画作成技法についての研修会」(平成14年11月17日・18日開催)

イ.「演習を中心にした介護サービス計画作成基礎研修会」(平成14年12月20日開催)

ウ.前述の要介護度の2区分以上改善した事例を担当している介護支援専門員

エ.各地域でのリーダー的役割の介護支援専門員など

④調査項目

ア.「要介護度軽改善事例の概要シート」に沿って個別面接調査が実施された。概要シートは、以下の項目によって構成されている。

- ・年齢
- ・性別
- ・世帯区分(独居世帯・高齢世帯・同居世帯)
- ・障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)
- ・痴呆性老人の日常生活自立度
- ・ADL状況:食事・歩行・排泄・入浴・更衣・特記事項
- ・IADL状況
- ・現病歴
- ・身体の状況
- ・精神の状況
- ・サービスの利用種類等
- ・主な介護者と介護状況
- ・過去の認定の推移状況
- ・事例の概要
- ・要介護度改善として考えられる理由・要因

⑤調査員（研修会参加者）による検討項目

研修会においては、個別面接調査の結果を以下の2点について分析をした。

- ア.要介護度の改善事例における改善の要因について
- イ.介護サービスの適切な利用と不適切な利用について

⑥調査結果

ア.「要介護度軽改善事例の概要シート」における事例の概要

「要介護度の改善事例の概要シート」における事例の検討は、以下の21事例に関して行なった。（※実際の「要介護度軽改善事例の概要シート」は別紙参照のこと）

表Ⅲ-6-13 改善事例の概要

「要介護度軽改善事例の概要シート」における事例の概要

事例	年齢	性別	世帯区分	寝たきり度	痴呆度	ADLの状況					改善の区分数
						食事	歩行	排泄	入浴	更衣	
1	80	男性	高齢世帯	A1	I	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	2
2	89	男性	同居世帯	C2	Ⅱa	一部介助	全介助	全介助	全介助	全介助	1
3	74	女性	独居世帯	A1	I	自立	自立	自立	自立	自立	0
4	86	女性	独居世帯	J1	正常	自立	自立	自立	自立	自立	2
5	79	女性	独居世帯	B2	正常	一部介助	一部介助	一部介助	全介助	一部介助	2
6	85	女性	同居世帯	A2	Ⅱb	自立	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助	2
7	88	女性	同居世帯	A2	I	自立	自立	一部介助	一部介助	全介助	2
8	90	女性	同居世帯	B2	正常	自立	全介助	一部介助	全介助	一部介助	1
9	90	男性	高齢世帯	J2	正常	自立	一部介助	一部介助	一部介助	自立	2
10	77	女性	同居世帯	A2	Ⅲa	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助	3
11	90	女性	独居世帯	A1	Ⅱa	自立	自立	自立	一部介助	一部介助	-
12	86	女性	同居世帯	A1	Ⅱb	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	3
13	77	男性	同居世帯	A1	Ⅲa	一部介助	一部介助	自立	一部介助	一部介助	1
14	86	女性	同居世帯	B1	I	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	2
15	66	女性	同居世帯	B2	Ⅳ	一部介助	一部介助	全介助	全介助	全介助	1
16	91	女性	同居世帯	B1	I	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	1
17	78	女性	高齢世帯	A1	Ⅱa	自立	自立	一部介助	一部介助	一部介助	2
18	83	男性	同居世帯	B1	正常	自立	自立	一部介助	一部介助	一部介助	1
19	43	女性	同居世帯	A1	正常	自立	自立	一部介助	一部介助	全介助	2
20	80	男性	同居世帯	B1	Ⅱb	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助	1
21	95	男性	高齢世帯	A1	Ⅱa	自立	自立	一部介助	一部介助	一部介助	1

表Ⅲ・6・14 改善事例の基本属性など

「要介護度軽改善事例の概要シート」の集計一覧表

項目	人数	%	
年 齢	65歳未満	1	4.8
	65歳～75歳未満	2	9.5
	75歳～85歳未満	7	33.3
	85歳～95歳未満	10	47.6
	95歳以上	1	4.8
性 別	男 性	7	33.3
	女 性	14	66.7
世 帯	独居世帯	4	19.0
	高齢世帯	4	19.0
	同居世帯	13	61.9
寝たきり度	正常	0	0.0
	J 1	1	4.8
	J 2	1	4.8
	A 1	8	38.1
	A 2	3	14.3
	B 1	4	19.0
	B 2	3	14.3
	C 1	0	0.0
痴呆度	正常	6	28.6
	I	5	23.8
	Ⅱa	4	19.0
	Ⅱb	3	14.3
	Ⅲa	2	9.5
	Ⅲb	0	0.0
	IV	1	4.8
	M	0	0.0
食 事	自 立	15	71.4
	一部介助	6	28.6
	全介助	0	0.0
歩 行	自 立	8	38.1
	一部介助	11	52.4
	全介助	2	9.5
排 泄	自 立	8	38.1
	一部介助	11	52.4
	全介助	2	9.5
入 浴	自 立	2	9.5
	一部介助	15	71.4
	全介助	4	19.0
更 衣	自 立	7	33.3
	一部介助	10	47.6
	全介助	4	19.0
改善区分数	3	2	9.5
	2	9	42.9
	1	8	38.1
	その他	2	9.5

(5) 要介護度の改善の要因などに関する事例的検討の結果

①要介護度の軽減（改善）事例における軽減（改善）の要因について

ア.健康・医療・リハビリテーション面での要因

- ・主治医の熱心な往診などの診療
- ・服薬管理による病状・状態の安定
- ・排便コントロールによる状態の安定（排泄に限らず食事面などにも好影響）
- ・ペースメーカーの植え込み手術による病状・状態の安定
- ・積極的（意欲的）なリハビリテーションの実施

イ.利用者や家族などの意欲・意識面での要因

- ・「ベッドから起き上がって煙草が吸いたい」という本人の強い意欲・目標
- ・「遊びに来ている（居間にいる）曾孫に会いたい」という本人の強い意欲・目標
- ・「これ以上介護者に負担をかけられない」という本人の強い意欲・目標
- ・「自立したい」という本人の強い意欲・目標
- ・地域での支援・サポート体制（地域ネットワーク）
- ・良好な家族関係（良好な介護環境）

ウ.介護サービス利用による要因

- ・通所リハビリテーションと訪問看護の効果的な連携
- ・対応の迅速性・即応性
- ・福祉用具活用や住宅改修による住環境の改善
- ・訪問介護や通所・短期入所サービス利用による食生活（栄養状態）の改善
- ・通所サービス利用による外出の機会や他者とのコミュニケーションなど
- ・訪問介護利用により気ままな独居生活から生活の活性化への変化
- ・サービス担当者会議による関係者間の連携による統一されたケア
- ・サービス提供者の対応の良さ（サービス利用の好印象や喜びなど）

エ.その他の要因

- ・生活保護受給によって介護サービス利用が増加（経済状況）
- ・認定調査のチェック（調査員の判断）の違い
- ・親戚関係良好となり精神状態が安定
- ・ケアマネジャーの訪問時に励ましの言葉で意欲的になる
- ・インターネット、ケアマネジャーなどの情報入手の手段によって意欲に影響
- ・1か月～2か月程度の施設入所（利用）を継続
- ・認定調査では居宅と施設では調査結果が異なる